【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公表番号】特表2007-536441(P2007-536441A)
【公表日】平成19年12月13日(2007.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-048
【出願番号】特願2007-512159(P2007-512159)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｐ　1/651　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　1/642　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　1/613　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　23/00　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　13/224　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　13/352　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｐ　1/651
Ｄ０６Ｐ　1/642
Ｄ０６Ｐ　1/613
Ｄ０６Ｍ　23/00　Ａ
Ｄ０６Ｍ　13/224
Ｄ０６Ｍ　13/352

【手続補正書】
【提出日】平成20年4月23日(2008.4.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）２～２０個のヒドロキシル基を含有するポリヒドロキシ化合物のC_1～C_2カルボン酸エステル、および
（Ｂ）ｐＫａ値６～８を有するＮ－複素環化合物
を含む補助剤組成物。
【請求項２】
成分Ａとして、エチレングリコールモノホルマート、エチレングリコールジホルマート、ジエチレングリコールモノホルマート、ジエチレングリコールジホルマート、エチレングリコールモノ（クロロアセタート）、エチレングリコールジ（クロロアセタート）、ジエチレングリコールモノ（クロロアセタート）、ジエチレングリコールジ（クロロアセタート）、エチレングリコールモノ（ヒドロキシアセタート）、エチレングリコールジ（ヒドロキシアセタート）、ジエチレングリコールモノ（ヒドロキシアセタート）、ジエチレングリコールジ（ヒドロキシアセタート）、エチレングリコールモノ（オキサラート）、エチレングリコールジ（オキサラート）、ジエチレングリコールモノ（オキサラート）、またはジエチレングリコールジ（オキサラート）を含む、請求項１記載の組成物。
【請求項３】
成分Ｂとして、イミダゾール、または２，４－ルチジンを含む、請求項１記載の組成物。
【請求項４】

成分ＡおよびＢを５００：１～４：１の重量比で含む、請求項１記載の組成物。
【請求項５】
さらに、
（Ｃ）式（１）：
【化１】

$$R_1—(OCHR_3CH_2)_n—OCHR_3CH_2—OR_2 \qquad (1)$$

（式中、R_1およびR_2は、水素またはC_1～C_{12}アルキル、ただしR_1およびR_2基の少なくとも１個は、水素であり、R_3は、水素またはメチルであり、ｎは、０～８の数である）のグリコールまたはグリコールエーテルを含む、請求項１記載の組成物。
【請求項６】
（Ａ）２～２０個のヒドロキシル基を含有するポリヒドロキシ化合物のC_1～C_2カルボン酸エステル２０～９５重量％、
（Ｂ）ｐＫａ値６～８を有するＮ－複素環化合物０．２～１０重量％、および
（Ｃ）式（１）：
【化２】

$$R_1—(OCHR_3CH_2)_n—OCHR_3CH_2—OR_2 \qquad (1)$$

（式中、R_1およびR_2は、水素またはC_1～C_{12}アルキルであり、ただしR_1およびR_2基の少なくとも１個は、水素であり、R_3は、水素またはメチルであり、ｎは、０～８の数である）のグリコールまたはグリコールエーテル０～７０重量％を含み、成分（Ａ）＋（Ｂ）＋（Ｃ）の合計が、いずれの場合も、１００重量％である、請求項１記載の組成物。
【請求項７】
加工液が請求項１記載の組成物を含む、繊維加工工程におけるｐＨ制御の方法。
【請求項８】
未染色紡織繊維材料を、少なくとも１種の染料と請求項１記載の組成物とを含む水性の吸尽染色液に、２０～４０℃かつｐＨ６～９で接触させ、次に、温度を９０～１５０℃に上げ、その結果ｐＨが４～７に低下する、天然または合成紡織繊維の染色の方法。